

2005年4月号 ストリートチルドレン

NI No.377 April 2005
Street children

< 内容 >
(本文は英語です)

スペシャル・レポート 世界を揺るがした
津波

津波被害を受けたアジア各地のその後の
様子を報告する。

行間から真実を読むことのすすめ

子どもたちの語る言葉に、なぜじっと耳を傾
ける必要があるのか。

ドルジョン:「人生は一度だけ」

凍りつくようなモンゴルで、下水溝を寝ぐらとして生き延びる少年。

魚の頭と信念

ストリートの子どもたちが撮った写真。

タンヤ:「飢え死にするくらいなら、AIDSで死んだ方がまし」

路上で身体を売りながら暮らす少女(ハラレ、ジンバブエ)。

リカルド:「この世で唯一嫌いなものは警察だ」

昼は宗教デザインのカードを売り、夜は暴力におびえながら生活
する少年(モンテビデオ、ウルグアイ)。

ストリートチルドレン その事実

ニコール:「訳あって路上生活をしてるけど、もう後悔してないわ」
物乞いの生活から教育の大切に気付いた少女(トロント、カナダ)。

ルクシャナー:「恋に落ちるのは簡単だけど、我慢するのは大変
よ」

少年たちを信用できない働き者の少女(ムンバイ、インド)。

リン・ジョイ:「望みを失ってはいけない、きっとかなう時がくる」
決意と望みを胸に前向きに進み続ける少女(マニラ、フィリピン)。

ジャック:「僕はこんな人生を歩みたい」

絵を描きながら空想にふける少年(マニラ、フィリピン)。

何かしたいと思ったら、さあ行動しよう

その他、世界の情勢を伝えるニュースやレポートも掲載



ストリートチルドレンは普段どのような生活をして何
を考どう世間から扱われているのか。激しくも素
晴らしい勇気あふれる子どもたちの生きる物語を取り
上げる。マンホールでの生活から売春まで、私た
ちの想像をはるかに超えた苦悩を子どもたちは明
かしてくれる。しかしまた、そんな彼らの話からは素
直な気持ちや広い心がうかがえ、将来への望みを
抱かせてくれるものでもある。今月のNIでは、スト
リートチルドレンの生の声を直接みなさんにお届け
する。

NI-Japan No.65 2005年4月号
ストリートチルドレン

< 内容 >
(本文は日本語、一部英語です)

< NI本誌記事の翻訳 >

行間から真実を読むことのすすめ (NI p9の翻訳)

ドルジョン:「人生は一度だけ」 (NI p10-12の翻訳)

ニコール:「訳あって路上生活をしてるけど、もう後悔し
てないわ」 (NI p20-21の翻訳)

< Reporting from Japan >

日本の若者が見たストリートチルドレン

~ 初めてストリートチルドレンの生活に触れた大学生
が見たこと、感じたことをつづった。

海外でストリートチルドレンを支援している日本の団体。

< Information >

NI読者からのレポート(スマトラ沖地震津波被害の現
場から)

~ 本当の英雄は現地の人々
だった (NI p7の一部翻訳)

次号のご案内、編集後記など

< Country Profile >

「世界の国のプロフィール

ビルマ」

(NI p36の翻訳)



NI (英語版、A4サイズカラー、約40ページ) と日本編集の
NI-Japan(日本語、A4サイズモノクロ、12ページ)をセット
でお届けします。

【年間購読(1・2月号は合併号のため年11回発行)】

1年間 10,500円(送料、消費税込み)

2年間 19,000円(送料、消費税込み)

【お試用最新号またはバックナンバー】

1,000円(送料、消費税込み)

* ホームページでは、購読お申し込みやバックナンバー照
会、無料メールマガジン申し込み等がご利用頂けます。



< お問い合わせ・お申し込み >

有限会社インティリンクス

〒193-0843 東京都八王子市廿里町46-2

Tel / Fax : 0426-29-4863

E-mail : info@ni-japan.com

URL http://www.ni-japan.com/